

2014年2月18日

報道関係者各位

株式会社 CyberZ

2013年のスマートフォン広告市場規模は1,652億円、前年比193%
2014年国内市場は2,000億円を突破すると予測
 CyberZ、スマートフォン広告市場動向調査を実施、2016年までの想定推移・広告商品別広告費など発表

株式会社サイバーエージェント（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：藤田晋、東証マザーズ上場：証券コード4751）の連結子会社である株式会社 CyberZ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：山内隆裕）は、株式会社シード・プランニング（本社：東京都文京区、代表取締役社長：梅田佳夫）と共同で、スマートフォン広告市場動向調査を行いました。

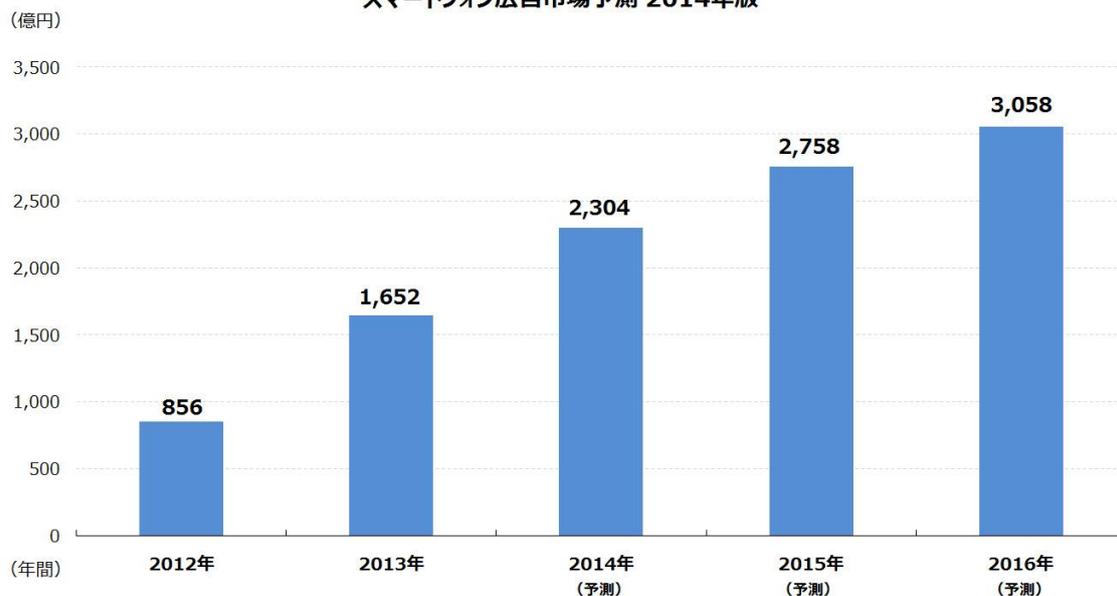
本調査では、スマートフォン広告を「検索連動型広告」、「ディスプレイ広告」、「成果報酬型広告」の広告商品（※1）に分類し、年間スマートフォン広告出稿額を推計し（対象期間：2013年1月～2013年12月）、市場規模予測を算出しております（※2）。調査結果は以下のとおりです。

■ 2013年のスマートフォン広告市場規模推計

2013年のスマートフォン広告市場規模は、1,652億円。前年比193.0%と高水準で成長。

2013年は、通信事業者によるLTEなどの高速回線サービスの拡充が進み、スマートフォンにおける動画、書籍、音楽、ゲームなどのデジタルコンテンツ利用が促進されました。さらに、eコマース事業者によるスマートフォン向けサービス対応が加速した結果、2013年はユーザーのインターネットによる商品・サービスの消費活動における、スマートフォンの重要度が高まった一年となりました。これにより、企業のスマートフォンユーザーを対象としたマーケティング活動がより一層強化され、スマートフォン広告需要の裾野も前年より大きく広がりました。このような市場背景により、2013年のスマートフォン広告市場は昨年の予想を大きく上回る1,652億円、対前年比193.0%となりました。（広告商品別市場規模は次項に記載）

スマートフォン広告市場予測 2014年版



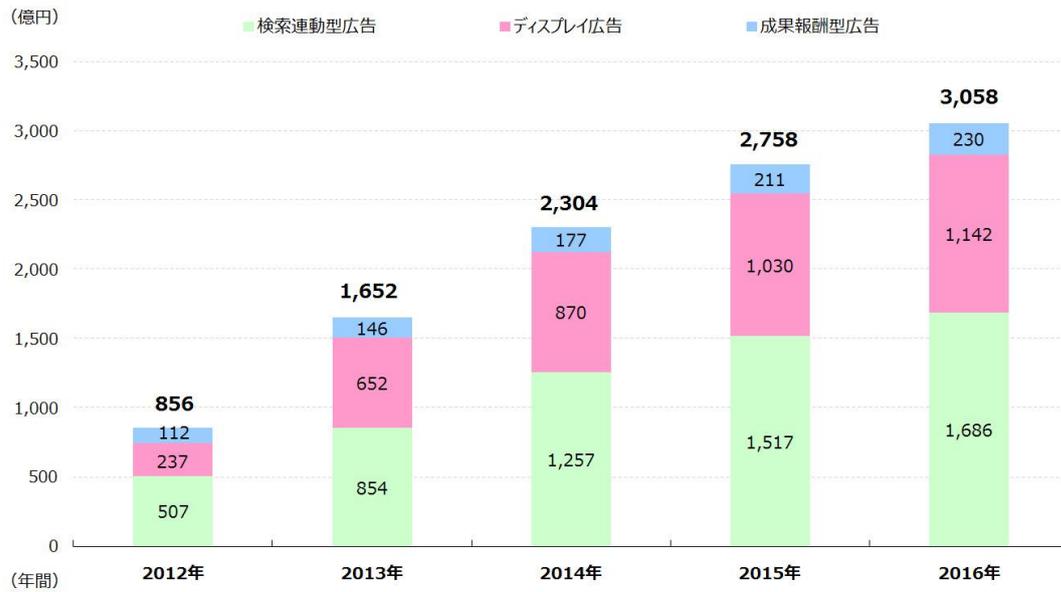
CyberZ/シード・プランニング共同調べ
 Copyright © 2014 CyberZ, Inc. All Rights Reserved.

■ スマートフォン広告商品別動向

2013年のスマートフォン広告市場におけるディスプレイ広告市場規模は、652億円。前年比275.1%と他広告商品と比較して成長率が高く、全体に占める構成比は27.7%から39.5%へ拡大。

2013年のスマートフォン広告商品別市場規模は、検索連動型広告市場が854億円（前年比168.4%）、ディスプレイ広告市場が652億円（前年比275.1%）、成果報酬型広告市場が146億円（前年比130.4%）となりました。

スマートフォン広告市場予測 2014年版（広告商品別）



CyberZ/シード・プランニング共同調べ
Copyright © 2014 CyberZ, Inc. All Rights Reserved.

広告商品別動向は以下の通りです。

【 検索連動型広告 】

2013年、大手事業者により広告配信プラットフォームの大幅な仕様変更が行われ、広告主はPC・スマートフォンなど複数のデバイスに対して、一括かつ横断的に広告配信をすることが可能になりました。これにより、従来PC向けに検索連動型広告を出稿していた多くの広告主がスマートフォン向けの広告出稿をはじめ、スマートフォン向け検索連動型広告需要が促進されました。

【 ディスプレイ広告 】

国内ゲームデベロッパーのプロモーション需要に加えて、海外デベロッパーの日本進出、大手小売・飲食チェーンなどのO2Oプロモーション需要、Eコマース事業者ほか、幅広い広告主の集客需要の増加を背景に、これら広告主の特性に合わせた需要に対応する、新たな広告商品の提供が進みました。その結果、ディスプレイ広告市場は前年に引き続き、大きく拡大しました。2012年後半より提供された、ソーシャルメディアにおけるバナー広告やタイアップ広告、さらに、動画広告の需要が急増し、ディスプレイ広告市場の成長に大きく寄与しました。

【 成果報酬型広告 】

ゲームデベロッパーのプロモーション需要の増加により、成果報酬型広告需要も前年に引き続き増加しました。成果報酬型広告はこれまで、ユーザーのアプリインストールに応じて、ポイントなどのインセンティブを付与する形式が主流でしたが、2013年にはインセンティブを付与しないタイプの成果報酬型広告が一定の規模で普及しました。ゲームを中心に、国内外より多くのデベロッパーによる参入が進み競争が激化する中、短期的に一定の投資対効果が得られる成果報酬型広告は、今後も大手アプリデベロッパーを中心に、安定したプロモーション需要が見込まれます。

■ 2014年のスマートフォン広告市場規模推計

2014年のスマートフォン広告市場規模は、2,304億円。昨年予測時の1,526億円より1.5倍増加。
2013年予測時よりも2年早く、2,000億円台に突破する見込み。

広告商品別では、検索連動型広告が1,257億円(前年比147.2%)、ディスプレイ広告870億円(前年比133.4%)、成果報酬型広告177億円(前年比121.2%)と予測します。2014年は、広告主のスマートフォン対応がより一層と進むことが予想され、企業規模を問わずWebプロモーションのスマートフォン対応が加速することが見込まれます。検索連動型広告市場は、ユーザーの検索利用の拡大に伴い、高い水準の成長が見込まれ、ディスプレイ広告市場は、ソーシャルメディア広告および動画広告の需要拡大、スマートフォン向けDSPの配信ボリュームの拡大も期待され、自社のデータを活用したターゲティング広告の普及などにより、市場全体が活性化されることが期待されます。成果報酬型広告は、アプリデベロッパーからの根強い需要のもと、広告表現の多様化が進展することで、引き続き安定した市場成長が見込まれます。

■ スマートフォン広告市場の今後

2016年、スマートフォン広告市場規模は3,000億円を突破する見込み。

2014年以降も、スマートフォン端末の普及や、デジタルコンテンツ、Eコマース市場の成長に沿って、今後も中期的に高い成長率を維持することが予想されます。新しい技術を活用した、より精度の高いスマートフォン向けターゲティング手法の普及や、動画広告市場の拡大をはじめ、市場の活性化につながる従来にはない新しいメディア広告商品の登場など様々な変動要素を含んでおり、現時点の予想を上回る成長水準となる可能性を含んでおります。

当社は今後も、スマートフォン広告市場の発展に寄与すべく、企業のスマートフォンプロモーションの問題解決や効果向上に努めてまいります。

※1 本調査におけるスマートフォン広告の定義および、商品区分の定義は下記の通りです。

・スマートフォン広告：ユーザーがスマートフォン端末上で視聴するWebサイトやアプリに対して配信されている、画面サイズに最適化されて表示される広告を示します。また、原則として広告の遷移先となる広告主サイトもスマートフォン画面サイズに最適化されているものを対象とします。

・検索連動型広告：ユーザーの検索キーワードに連動し、検索サイトにおける検索結果ページに表示される広告を対象とします。なお、2013年3月発表時には、「リスティング広告」という名称にしており、その内訳に「コンテンツ連動型広告」も含んでおりましたが、本年より「コンテンツ連動型広告」は「ディスプレイ広告」へ区分いたしました。このため、本調査結果における2012年の「ディスプレイ広告」金額実績は、前回調査において「リスティング広告」に含んでおりました「コンテンツ連動型広告」の金額(27億円分)を加算し、再集計いたしました。

・ディスプレイ広告：主にバナー型の広告枠内に動画や図などがビジュアル表示される広告や、媒体(アプリを含む)に広告主が協賛することによりコンテンツの一部として情報発信をする、スポンサータイアップ広告を対象としています。なお、ディスプレイ広告は、媒体社が広告商品として企画・販売する、単一媒体の広告枠上に表示される「純広告」と、アドネットワークやDSPと呼ばれる媒体社以外の広告会社が複数の媒体に一括配信する「アドネットワーク・DSP広告」に分類し、市場規模を推計しています。

・成果報酬型広告：主にアプリ開発者による自社アプリのプロモーション手法として提供されている、インストール課金型の広告商品を対象としています。プロモーション対象のアプリがユーザーがインストールすることに対し、ポイントなど何らかのインセンティブを付与する仕組みにより提供されます。主にWebブラウザサイト運営者によって、ユーザー獲得のために提供されているCPA課金型の広告商品ならびに、携帯電話販売店などの店舗でユーザーの携帯電話端末にアプリをインストールするプロモーション手法として提供されているリアルアフィリエイットは対象に含まれません。また、本年よりユーザーに対しインセンティブが付与されるインストール課金型広告の他、インセンティブを伴わないインストール課金型広告を対象として追加しています。

※2 本調査は、スマートフォン広告業界関連事業者へのヒアリング調査ならびに公開情報、調査主体およびシード・プランニングが保有するデータ等を参考に実施しています。

■ 調査概要

調査主体：株式会社CyberZ

調査時期：2013年12月から2014年2月

調査方法：スマートフォン広告市場関係者へのヒアリング、調査主体ならびに調査機関が保有するデータ、公開情報の収集

調査対象：スマートフォン広告市場ならびに関連市場

調査機関：株式会社シード・プランニング

※本調査内容を転載・ご利用いただく場合は、弊社のクレジット(Copyright © CyberZ, Inc. All Rights Reserved.)を記載してください。



■ 会社概要

社名 株式会社 CyberZ <http://cyber-z.co.jp/>
所在地 東京都渋谷区道玄坂一丁目12番1号 渋谷マークシティ16階
設立 2009年4月1日
代表者 代表取締役社長 山内隆裕
事業内容 スマートフォン広告事業

■ 本リリースに関するお問い合わせ

株式会社 CyberZ 広報担当: 栴嶋 (かばしま)
E-mail: press@cyber-z.co.jp
Tel: 03-5459-6276 Fax: 03-5428-2318

■ ソーシャルアカウント

Facebook <http://www.facebook.com/CyberZ.inc>
Blog <http://ameblo.jp/cyberz-pr/>

以上